



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

# 鹿児島南ロータリークラブ

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ  
「イマジン ロータリー」

2022-2023年度 RI第2730地区スローガン  
「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現に」

週報

Vol.65 No.28

令和5年(2023年)

4月12日

2022-2023年度 クラブのスローガン 「多様性を活かし、ロータリーで楽しもう」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクローズ RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 池田 京子 会長エレクト: 柳元 尚喜 会長ノミニ: 盛澤 篤司 幹事: 澤野 正幸

2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年度 RI第2730地区ガバナー 山ノ内 文治(鹿児島RC)

市内グループガバナー補佐 A: 上野 欣一(鹿児島東RC) B: 宮内 秀人(鹿児島北RC)

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119

E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル



【第3057回例会】外部卓話「ジェンダー問題を取材して」南日本新聞社 吉田文様

## 令和5年4月5日 第3056回例会

[点鐘] [国歌斉唱] [ロータリーソング] 我等の生業

[四つのテスト唱和] 萩原会員

[ゲスト紹介] 卓話者石原興一郎様、田中誠様

[3月の出席率] 59.85% 訂正出席率 71.21%

## 記念品贈呈

【4月生 誕生記念品贈呈】【出席100%記念品贈呈】

軸屋 忍会員(5日)

福岡一信会員(RC歴41年)

浜平博行会員(14日)

澤野正幸会員(RC歴7年)



## 会長挨拶

【会長の時間：4月「母子の健康」】

先週は桜を愛でながら”賀寿のお祝いの宴”があり、32人の会員・ご家族の皆様がありました。私もお祝いをしていただきまして、誠にありがとうございました。

さて、奉仕の重要性を認識し、クラブだけでなくロータリアン一人一人がロータリー活動に参加するよう、RI理事会が特に力を入れるために指定した月間テーマがあります。4月は『母子の健康』です。その内容は、5歳未満の幼児・妊婦の死亡率や罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修等々の強調月間(参照:クラブアッセンブリーp13~14)として示されています。会員の中には母子の健康に関わる専門職業人の立場で職業奉仕を行っている方もいますが、全ての会員が「母子の健康」について関心をもつことは必要かと思えます。そこで、本日は「母子の健康」に関連して、少し「母子栄養」について取り上げます。

地球上では、5歳未満の子どもの少なくとも3人に1人は何らかの栄養不良(低栄養または過体重・肥満)といわれています。低栄養と、過体重・肥満、食事由来の生活習慣病という複数の栄養課題が、同じ個人・地域・国で生じる状態を「栄養不良の二重負荷または三重負荷」と呼び、世界の多くの地域・国で問題となっています。栄養課題は、社会、環境等々、様々な背景と関連し、当然のこととして、子どもはその影響を大きく受けることになります。

母子低栄養においては、妊娠期から生後2歳までの期間を”人生最初の1000日”と呼び、この期間に十分な栄養を確保することがその後の心身の発達・発育に極めて重要であることが強調されており、科学的根拠に基づいて、日本の保健行政等も力を入れているわけです。

SDGsでは、子どもの生存を守るとともに、よりよい成長を促す必要性が高まってきました。人生最初の1000日には、保健医療サービスと栄養サービスが一体的・継続的に行われること、その継続的な対応が求められています。(例: JICAはガーナで母子の健康を守るツールとして、日本の母子手帳のコンセプトを参考に「ガーナ版母子手帳」を作成し、改善を目指してきている。)

世界の地域別で見ると、保健医療・衛生状態に課題のある地域・国(コンゴ、エチオピア、ナイジェリア、インド、パキスタン等々)では5歳児未満の死亡率や、妊婦の妊娠中・出産時、出産による合併症での死亡率が高く、保健医療だけでなく、栄養・食料、水、衛生、社会保護、教育などの各分野の協働が不可欠です。母子の健康について、各国政府、国連機関、援助機関、市民社会、アカデミア等が関わっており、ロータリー財団も予防ワクチン、抗生物質の提供、水と衛生の改善、栄養失調への改善プログラムなどの支援を行ってきています。

鹿児島南ロータリークラブも、ロータリー財団への寄付[個人寄付、ポリオプラス(年会費と同時に1500円の預り分)、年次シェア(2500円×会員数)等]を年2回送金しています。このように、ロータリー財団への支援寄付は、「母子の健康」も含めて、国際社会への貢献に寄与していることから、今後も積極的に協力していくことを求められているのではないかと考えます。

最後になりましたが、本日の外部卓話をご依頼いただきました石原様、どうぞよろしくお願ひします。

## 会務報告

- ①地区研修・協議会の案内を該当される会員へ送っています。出席をよろしくお願ひいたします。
- ②ガバナー月信4月号、ロータリーの友4月号をお配りしています。今月は外部卓話と職場訪問が計画されているため紹介の時間が取れませんので各自でお読みください。
- ③4月のロータリーレートは1ドル=133円です。
- ④トルコ・シリア大地震義援金報告がガバナー事務所から届きました。1,986,505円集まり、ガバナー会を通じてトルコRI2430地区に送金されるそうです。南RCからは50,000円送金しました。